



学校だより

後 川

No. 17

令和2年12月4日(金)発行
四万十市立後川中学校

走り切ったマラソン大会

12月3日(木)、後川中学校マラソン大会を行いました。今年は、道路工事に伴い、これまでのコースが使用できないため、コースを変更し、小中合同でのマラソン大会でした。11月には小中合同で2回の試走を行っての本番当日でした。小中学校では、『これまでの持久走の成果を出すこと、マラソンの爽快感を味わうこと、自分の限界に挑戦しようとする態度を養うこと、小中学生とともにお互いの頑張りを認め合うこと』を目的として体育や部活動での練習を積んできました。中学生は3.4kmを参加者全員が走り切りました。

開会式では、全員が緊張した様子でしたが、小中合同でウォーミングアップを行い、中学生のスタート直前には小学生から「ニッポン、ニッポン!」と声援と拍手が起こり、盛り上がりました。これまでの練習をもとに自分の予想タイムを設定し、全員が最後まで走り抜きました。ゴールをめざして、一生懸命に走る姿はとても立派でした。何事にも全力で取り組む姿勢に見ていて心が熱くなったマラソン大会でした。

保護者の皆様、地域の皆様、学校や沿道での応援ありがとうございました。おかげさまで事故やケガなどなく、無事に全員が完走できました。ご協力ありがとうございました。



小学生に好評 読み聞かせ

11/25、約1月ぶりに小学校への読み聞かせに行きました。聞き手にわかるように、場面が思い浮かぶようにと心をこめて、優しく丁寧に読んでいる中学生たち。小学生が集中して真剣に聞いてくれ、心があったかくなる朝の風景です。読んだあとは、小学生から感想が発表され、絵本を読むことの楽しさを小学生・中学生が共有しています。



みんなで笑った「えびっちょお話会」

11月のえびっちょお話会は、落語「勘定板」でした。地方から東京見物にやって来た親子。旅館に泊まりトイレに行きたいけれど、地元ではトイレのことを『勘定板』と呼ぶため、番頭さんとのやり取りがトンチンカンなまま「トイレ」の意味が通じないという面白いお話でした。学生時代に落語研究会の経験がある今城さんの楽しい落語にみんなが大笑いでした。

